

まだまだです。

3年生にとっては最後の菊池郡市中学校総合体育大会(いわゆる中体連大会)がいよいよ明日から始まります。どの中学校の生徒にとっても最後の大会です。どの生徒も、最後にかける想いは同じで、毎日きつい練習に取り組み、日々努力を積み上げてきています。そこには「夢」や「目標」に向かって頑張る強い気持ちを、持って臨んでくる「覚悟」でしょう。

そう、「相手に勝つ」ということは、「相手の夢を打ち破る」ということなのです。

それは大変重いことなのです。そんな「覚悟」を持って、一試合一試合、大切に戦って欲しいと願います。

そこで、今回は左に大きく書いている「勝ったら静かに帰り、負けても堂々と帰っておいで!」という言葉添えています。

今回は、その言葉の意味について考えてみたいと思います。今回は、その言葉の意味について考えてみたいと思います。

2,3年生の皆さんは、体育の授業で剣道に取り組まれたと思います。1年生は後期後半で取り組むと思いますので、お楽しみにしてください。

その中で「残心」という言葉を学ばれたでしょうか? 剣道では、相手に打突が決まった後でも、相手の反撃に対応できるように、身構え、心構えをとっておくことを残心と言います。

簡単に言うなら、「油断せずに次に備えなさい。次の備えを怠らない。」ということになるかと思えます。

先日、恩師と話す機会があり、その際に「おー、それすごいね。」と褒められる場面がありました。恩師に褒められて私は嬉しくて、「ありがとうございます。」とお礼を返しました。すると恩師は、「そこでありがとう、でも良いけど、『まだまだです。』と答えた方がもつといいぞ。人は満足してしまうと、成長を止めてしまうから。『まだまだです』と声に出すと、次へ挑戦していくエネルギーが湧いてくるものだよ。」と言われたのでした。

そう、中体連大会も同じだと思います。試合に勝って浮かれ気分が騒いで帰ってきては、油断が生まれ、次への成長をジヤマしてしまうかもしれません。

油断しないためにも、勝ったら「まだまだ」と心の中で繰り返し念じながら、謙虚に帰ってくる。これも残心です。

負けたとしても、みんなが口頃頑張って積み上げてきたものは、決して失われるものではありません。だからこそ、堂々と帰ってきて欲しいのです。

努力したからといって、絶対成功する、ということとは約束されていません。

しかし、成長することは約束されているのです。

さあ、3年生は最後の時、一つずつ、丁寧に、最後まで、勇気を持てば、運命も味方になる! 頑張ってください!

信は力なり

直

勝ったら静かに帰り、負けたら堂々と帰っておいで